

クラブマネジャーにインタビュー No. 7

文化の里スポーツクラブ 「健康づくり、人づくり、まちづくり」

Q 1 総合型地域スポーツクラブに関わったきっかけを教えてください。

宮本 きっかけは、人との出会いです。宇和町体育館の嘱託職員として勤めていたときに、たくさんのすばらしい仲間と出会えました。また、クラブマネジャー養成講習会を受講して、たくさんの先生方と出会い、いろんなことを学ぶことが出来ました。その結果、クラブの運営に関わることになりました。



クラブマネジャーの宮本和朗さん

Q 2 運営していて、一番の喜びは何でしょうか？

宮本 参加者が歓声を上げている様子を見てみると、クラブを支え、その場を創り出し、提供できることに喜びを感じます。(微笑)

Q 3 逆に一番苦労されていることは何でしょうか？

宮本 身の丈にあったクラブ運営をしていますが、人、もの、金と課題は尽きることがありません。常に課題を抱えています。課題は、一人で抱え込まずに月例運営委員会で話し合っ、運営委員みんなが共有します。課題解決のために、いろいろな情報を集め、講習会などにも積極的に参加して、解決の糸口をみんなで模索します。「苦は楽の種」と言いますが、このプロセスこそが、楽の始まりだと考えています。

グラウンドゴルフ交歓会の様子



Q 4 このクラブのPRをお願いします。

宮本 私たちのクラブは、3つの理念を持っています。一つは、市民の生涯にわたる健康づくり。二つめは、子どもたちの健全育成。三つめは、元気で豊かなまちづくりです。この3つのクラブビジョンを掲げ、私たち市民自らが、まちづくりに参画し、それを実現していくのが、文化の里スポーツクラブだと思っています。

Q 5 将来、どんなクラブにしていきたいですか？

宮本 愛媛大学の堺先生のもと、総合型クラブについて大学院で研究をしていた伊賀上さんが、昨年西予市教育委員会に配属されました。伊賀上さんのサポートによって、クラブが大きく変革しました。西予市が掲げる「西予市スポーツ振興計画」に沿って、成人教室、ジュニア教室の新設など、子どもから高齢者まで気軽に参加できるクラブにしたいと思っています。その為に市民の加入率10%を目標とした事業計画を策定しました。「雨だれ石をうがつ」と言いますが、大きなことは出来ませんが、これからも一步一步、コツコツと前向きにやっていきます！！

